

財 政 事 情 書

平成30年11月公表

基 山 町

ま え が き

この「財政事情の公表」は、町民の皆様に基山町の財政がどのように運営され、どのような状況にあるのかを知っていただくために毎年2回（5月及び11月）行っているものです。

今回は、平成29年度の決算、平成30年度の補正予算及び予算の執行状況などについて、その概要を掲載しています。

本町において、平成29年度決算では、歳入が前年度より13億6百万円増の81億1千4百万円、歳出が14億1千5百万円増の79億5千万円となり、形式収支は約1億6千4百万円となりました。ふるさと納税事業が歳入歳出の主な増加要因となっています。

財務指標については、経常収支比率93.0%、実質公債費比率10.6%、将来負担比率31.3%となっています。

なお、平成30年度一般会計の9月補正予算段階での歳入歳出予算は前年度の同時期より26億9億9千6百万円増の96億6百万円、平成29年度末の町債残高については前年度より約2億4千3百万円増の約62億1千7百万円となっています。

今後とも、収支バランスに留意し健全な財政運営に努めてまいりますので、町民の皆様におかれましても、町政発展及び財政健全化のため、より一層のご協力、ご支援をお願い申し上げます。

目 次

ま え が き

I. 平成29年度決算状況

一般会計	1
歳入	3
歳出	11
決算額の推移（過去5年間）	14
主要な施策の執行状況・事業説明	16
国民健康保険特別会計	35
後期高齢者医療特別会計	39

II. 平成30年度補正予算

1. 一般会計	41
2. 国民健康保険特別会計	43
3. 後期高齢者医療特別会計	43

III. 平成30年度予算の執行状況

44

IV. 財産の状況

46

V. その他

53

（健全化判断比率、資金不足比率）